

# 大崎市 洪水・土砂災害ハザードマップ

令和3年7月作成

## マイ・タイムライン

台風や大雨によってこれら起こる災害に対し、「いつ」「誰が」「何を」するのかといった防災行動を時系列に整理し、自分自身の防災行動計画のことです。時間的な制約が厳しい洪水発生時に、行動のチェックリストとして、また判断のサポートで効果を発揮するものです。

住民一人ひとりが、自分に合った避難に必要な情報・判断・行動を把握し「逃げ遅れゼロ」に取り組みましょう。

### 平常時の確認事項

- 自宅の状況を確認 自宅の危険性についてハザードマップから確認
 

浸水深	〜
-----	---
- 避難する場所
 

避難する場所 (第1候補)	避難する場所 (第2候補)
---------------	---------------
- 避難所までの交通手段
 

徒歩	分	自動車	分
----	---	-----	---
- 避難する際に(支援してくれる)人
 

①名前	電話
②名前	電話

平常時に考えておく時期

### 気象・行政の情報

- 台風予報 2日前
- 台風に関する宮城県・大崎市の気象情報
- 大雨・洪水注意報 24時間前

風雨が行う時期

### 大雨・洪水警報

「高齢者等避難」を発令  
防災行政無線・緊急速報メールなど  
危険な場所から高齢者等は避難を開始

避難準備が要する時期

### 川が氾濫危険水位に到達

「避難指示」を発令  
防災行政無線・緊急速報メールなど  
すべての人は危険な場所から避難を完了

すみやかに避難

### 川が氾濫

「緊急安全確保」を発令  
※必ず安全確保情報はありまじ  
防災行政無線・緊急速報メールなど  
すべての人は危険な場所から避難を完了

命を守るための最善の行動をとる

### そなえや注意点など

わが家のそなえ	そなえの例
●1週間分の食料を事前に受取りに行く	●台風の今後の動きを調べる
●家の周りの風で飛ばされやすいものを確認する	●1週間分の食料を事前に受取りに行く
●テレビやインターネット等で雨や河川の情報を得る	●家の周りの風で飛ばされやすいものを確認する
●家族と連絡を取り合う	●テレビやインターネット等で雨や河川の情報を得る
●携帯電話を充電しておく	●家族と連絡を取り合う
●避難場所や避難手段を確認する	●携帯電話を充電しておく
●避難しやすい服装に着替える	●避難場所や避難手段を確認する
●安全なところへ移動を始める	●避難しやすい服装に着替える
●感染症対策用品を準備する	●安全なところへ移動を始める
●避難が完了していない場合は、直ちに避難を開始してください。外に避難することでかえって命の危険がある場合は、その時点にいる建物内の安全な場所で、安全を確保してください。	●感染症対策用品を準備する
●自分の状況を家族や親戚などに連絡しましょう。	

## 1. 災害を知る

### 1-1. 洪水災害

大雨により河川の流量が異常に増加することによって堤防の侵食や決壊、橋の流出等が起こる災害を洪水災害といえます。一般的には、堤防の決壊や河川の水が堤防を越えたりすることによって起こる氾濫とよんで呼んでいます。



### 1-2. 土砂災害

土砂災害の種類と前兆現象

<b>かけ崩れ</b> (急傾斜地の崩壊) 斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透でゆるみ安易に崩れ落ちる現象	<b>地すべり</b> 斜面の一部あるいは全部が地下水の影響や重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象	<b>土石流</b> 山腹や川底の石、土砂が暴雨や集中豪雨によって一気に下流へと押し流される現象
--	--	---

### 1-3. 大崎市で発生した過去の水害(平成27年9月関東・東北豪雨)(令和元年東日本台風)

「平成27年9月関東・東北豪雨」により、大崎市では床上・床下浸水などが約700棟にもおよび、孤立した住宅から192名の市民が救助されました。また、河川の堤防決壊等による浸水面積が約3,000ヘクタールにも及び、養蚕産業である農業の関連施設をはじめ、多くの加工施設等で甚大な被害が生じたこと、1986年(昭和61年)に「鹿島台町」を襲った「8.5豪雨」以来の深刻な水害が発生しました。

「令和元年東日本台風」では、床上・床下浸水が約650棟となるなど、堤防破壊や内水による被害が広範囲に及びました。その約半数が吉田川の堤防決壊等を受けた鹿島台地域で、避難所の開設が約1カ月半続きました。その他、大崎市東部を中心に農業施設や加工施設等で甚大な被害が生じました。

過去の豪雨災害の48時間雨量 <参考> 【昭和61年8.5豪雨】271.0mm 【関東・東北豪雨】川窪観測所192.0mm、鹿島台観測所101.0mm、吉川観測所192.5mm 【東日本台風】川窪140.0mm、鹿島台292.0mm、吉川239.0mm



## 2. 災害に備える

### 2-1. 避難について話し合ひましょう

<b>ステップ1</b> まず、自宅の位置を確認しましょう。	<b>ステップ2</b> 次に、自宅付近の避難所を確認しましょう。	<b>ステップ3</b> 浸水箇所を避けて、避難路を設定しましょう。	<b>ステップ4</b> 実際に避難路を歩いてみて、安全を確認しましょう。
-----------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	--

### 2-2. 非常持出品を準備しておきましょう

<b>貴重品</b> 現金、印鑑、保険証など	<b>小道具具類</b> 懐中電灯、携帯ラジオ、予備電池、懐中トコロ、固形燃料、数値、新聞紙、箸・フォークなど、栓抜き・切切り、眼鏡・コンタクト、携帯電話	<b>衣類(季節に合わせて)</b> 下着類、帽子、防寒・レインウェア、手袋・革手、ひざかけなど	<b>洗面用品</b> 石けん、歯磨き用品、タオルなど
<b>医療用品</b> 常備薬、消毒液、包帯など	<b>飲料水</b> ミネラルウォーター、ペットボトル、缶詰	<b>食料品</b> お菓子、レトルト食品、缶詰	<b>赤ちゃん用品</b> おむつ、お風呂、おむつ替えシート、おむつカバー

## 3. 情報の入手先など

### 自ら情報収集し避難を判断しましょう

防災行政無線テレビホサービス  
大崎市では、防災行政無線の放送内容を電話で確認することができ、防災行政無線テレビホサービス(受信機)を設置しております。

大崎市メール配信サービス  
大崎市メール配信サービスの登録を行います。防災行政無線の放送内容、不要情報、高度情報を受信することができます。

防災情報の入手先

- 避難の情報は
  - 大崎市役所ホームページ
  - 大崎市役所メール(エリアメール)
- 水位の情報は
  - 雨量情報、洪水予報など
  - 水位情報、警戒情報
  - 国土交通省「川の防災情報」
  - 川が氾濫情報
  - 北上川下流河川事務所「河川ライブカメラ」
  - 北上川下流河川事務所
  - 宮城県河川流域情報システム
  - 宮城県河川流域情報システム
- 気象の情報は
  - 仙台管区気象台ホームページ
  - 仙台管区気象台
- ラジオ局
 

AM	NHK宮城第1	仙台 891 kHz
		鳴子 1161 kHz
	東北放送(TBC)	仙台 1260 kHz
		鳴子 1557 kHz
FM	BKKRFM(おおさきエフエム)	83.5 MHz
	NHK FM宮城	82.5 MHz
		鳴子 85.2 MHz
	Date fm(FM仙台)	77.1 MHz
		鳴子 84.1 MHz

名称	住所	電話番号
大崎市役所	大崎市古川七丁目1-1	0229-23-2111(代)
防災安全課	電話番号: 0229-23-5144 FAX番号: 0229-24-2249 E-mail: bouan@city.osaki.miyagi.jp	
松山総合支所地域振興課	大崎市松山千石宇田田30	0229-55-2111(総務防災担当)
三本木総合支所地域振興課	大崎市三本木大字大田24-3	0229-52-2111(総務防災担当)
鹿島台総合支所地域振興課	大崎市鹿島台平渡字上戸26-2	0229-56-7111(総務防災担当)
若山総合支所地域振興課	大崎市若山宇田田21	0229-72-1211(総務防災担当)
鳴子総合支所地域振興課	大崎市鳴子温泉宇田田65	0229-82-2191(総務防災担当)
田尻総合支所地域振興課	大崎市田尻沼田宇田田183-3	0229-39-1111(総務防災担当)
古川消防署	大崎市古川千手寺町2丁目5-20	0229-22-2350
大崎地域広域行政事務組合消防本部	大崎市古川千手寺町2丁目5-20	0229-22-2351
古川警察署	大崎市古川大宮1-1-17	0229-22-2311

家族間や知人間などの、安否の確認連絡に活用できます。ご利用にあたっての事前契約等は、一切不要です。

録音方法 171 → 1 → 自分電話番号(市外局番から) → 送信を入れる(1分〜30秒以内)

再生方法 171 → 2 → 相手の電話番号(市外局番から) → 送信を聞く

171ヘッダヤルすると、音声ガイダンスが流れますので、それに従って送信してください。

災害用伝言ダイヤル171 録音利用受付日 ●毎月15日 00:00~24:00 ●防災期間(8月30日09:00~9日5時17:00) ●災害用伝言ダイヤル171 録音利用受付日 ●毎月31日 01:00:00~1月31日24:00 ●防災とボランティア週間(1月15日09:00~1月21日17:00)

## 4. 大雨時のとるべき行動

### 4-1. 警戒レベルと災害時のとるべき行動

警戒レベル	住民がとるべき行動	避難情報等(気象庁からの発表)	住民が自ら行動をとる際の判断に参考となる情報(警戒レベル相当情報)
警戒レベル5	命の危険 直ちに安全確保! 今いる場所より安全な場所へ直ちに避難してください。	緊急安全確保 必ず安全確保は必要です	氾濫発生情報 大雨特別警報(浸水水害) 大雨特別警報(土砂災害)
警戒レベル4	危険な場所から 全員避難	避難指示	洪水分布の危険度分布(非常に危険) 土砂災害警報情報 土砂災害に関するメッシュ情報※(非常に危険) 土砂災害に関するメッシュ情報※(極めて危険)
警戒レベル3	危険な場所から 高齢者等は避難 避難に時間を要する高齢者等は、避難が立止まり避難を開始してください。また、その他の方も立止まり避難の準備をし、自発的に避難してください。	高齢者等避難 氾濫警戒情報	洪水情報 洪水分布の危険度分布(警戒) 大雨警報(土砂災害) 土砂災害に関するメッシュ情報※(警戒)
警戒レベル2	ハザードマップ等で 避難行動を確認	氾濫注意情報	洪水情報の危険度分布(注意) 土砂災害に関するメッシュ情報※(注意)
警戒レベル1	災害への心構えを高める		

自宅の外へ避難(立退き避難)

避難所など

災害が発生する前の立退き避難が原則です。

自宅に待機(屋内安全確保)

逃げ遅れた場合は、建物の上階などできるだけ安全を確保できる場所へ避難しましょう。

### 4-2. 避難時の心得

洪水などの水害から避難する場合は

- お年寄りや子供、病気の方、体の不自由な方などは、避難の準備が必要です。避難に支援が必要な方に協力しましょう。
- 夜間の避難は、周りの状況が確認しにくい場合に非常に危険です。暗くなる前に避難しましょう。
- 避難指示など、危険が迫ってきたら出られなくても、速やかに避難しましょう。

避難時の心得

- 避難するときは、動きやすい服装で、2人以上での避難を心がけましょう。
- 避難所が近くにないときは、近所の料理店や民衆の土階一時的に避難しましょう。

土砂災害から避難する場合

- 早く土砂災害警報区域や土砂災害危険箇所から外出しましょう。
- 周囲の状況を確認し、できるだけ浸水していない場所を歩きましょう。
- 土石流については、土砂の流れの方向に対して直角にできるだけ高い所に避難しましょう。
- 屋外への避難が困難な場合は、建物の土階とは反対側の2階以上の部屋へ移動しましょう。